

知覧特攻平和会館 企画展

空と海の特攻 四宮 徹 少佐

～ はがくれ隊 (震天制空隊) 隊長 / 第 19 振武隊長 ～

2024/7/19(金) ▶ 11/5(火)

会場 知覧特攻平和会館 企画展示室

開館時間 午前 9 時～午後 5 時まで 年中無休

入館料 小中学生 300 円(団体 240 円)
高校生以上 500 円(団体 400 円)

所在地 〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡 17881 番地
TEL 0993-83-2525 / FAX 0993-83-4859



関連イベント情報 学芸員による「講座」「ギャラリートーク」

参加費無料(入館料のみでご参加できます)(事前申し込み不要)

講座 (企画展の内容を詳しく解説します)

日時: 2024 年 7 月 27 日、8 月 24 日、9 月 21 日
10:30～ / 14:30～ (約 30 分)

会場: 知覧特攻平和会館(講話室)

ギャラリートーク (展示のみどころを企画展示室で紹介します)

日時: 2024 年 8 月 10 日、9 月 7 日、10 月 5 日
10:30～ / 14:30～ (約 30 分)

会場: 知覧特攻平和会館(企画展示室)

平和会館で自由研究!

夏休み特別企画

小中高生を対象に、夏休みの自由研究を学芸員がサポートします。詳しくは当館の HP をご覧ください。



昭和19年12月
「はがくれ隊」隊長 四宮中尉
B-29 帝都上空にて邀撃する直前



昭和20年3月
防衛総司令官より恩賜の煙草を受け
取る四宮中尉(左側2名の右人物)

しのみや とおる

四宮 徹少佐(※戦死後の階級)は敵機に航空機で体当たりする空対空特攻と艦船への空対艦特攻の二つを実施した特攻隊員です。陸軍航空士官学校を卒業後、飛行第244戦隊に配属されて東京防空の任務にあたりました。

昭和19年11月より米軍の戦略爆撃機B-29が関東上空に飛来するようになりましたが高々度を飛行する敵機に対して日本軍は有効な攻撃を行えませんでした。そのため、起死回生の攻撃法として空対空特攻を決定します。

四宮少佐は飛行第244戦隊で編成された「はがくれ隊(震天制空隊)」の隊長となり、12月3日の戦闘でB-29に体当たり攻撃を行い、片翼を損傷しながらも奇跡的に生還しました。その後、空対艦特攻の第2振武隊長(後に第19振武隊に改称)になり、昭和20年4月29日、沖縄島周辺の敵艦船を目指して知覧飛行場から出撃しました。

四宮少佐の遺品は日記、家族へ宛てた手紙や葉書、遺書などが残されています。そこには日々の反省、任務に対する責任感や闘志、家族を想う言葉が記されています。

本企画展は四宮少佐の遺品を中心に展示し、空対空特攻、空対艦特攻の経緯や実際の状況を紹介します。これらの史実を知っていただきその任務に殉じた隊員の心情に触れていただけたら幸いです。

展示構成

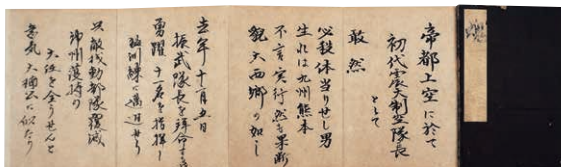
- 第1章 四宮 徹少佐の経歴と時代背景
- 第2章 本土防空戦 戦略爆撃機B-29と日本軍の攻防
- 第3章 空対空特攻 飛行第244戦隊「はがくれ隊」
- 第4章 空対艦特攻 第19振武隊

日記

昭和14年11月陸軍予科士官学校入校から対艦特攻の振武隊長となった昭和19年12月17日までの出来事、訓練内容、反省事項が記されている。



B-29に体当たり攻撃をした昭和19年12月3日の記述。
「ザマー見ヤガレ B29 ノ馬鹿者」快ナル哉
然レドモ今少シ優秀ナル飛行機デ更ニ多数機ヲ以テセバ敵ノ
野望等一挙ニ撃碎スルモノヲ残念ナリ



折本「魂」

四宮少佐をはじめ第19振武隊員、行動を共にした第18振武隊員の遺筆が記されている。

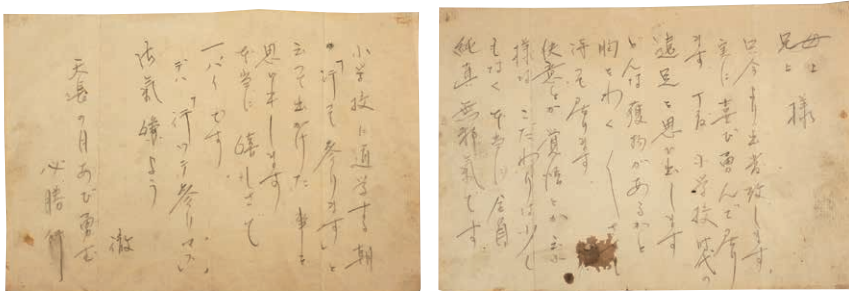


陸軍武功徽章

B-29に体当たりし片翼で生還した武功に対して東部軍司令官 藤江恵輔大将から授与された徽章。

綴方「四宮中尉ヲ讃フ」

昭和20年1月8日(純忠の神鷲讃仰の日)、四宮少佐の家族に熊本市内の少年団から自作の綴りが贈られた。



出撃直前の遺書(昭和20年4月29日)

遺書は同行した河野少尉(整備班長)に託され、家族のもとに届けられた。

